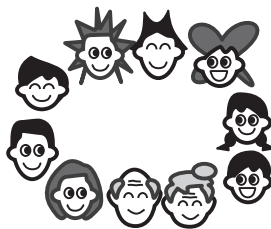


津谷歯科医院 口腔ケア新聞

NPO法人
訪問歯科診療
を広める会
賛助会員



令和2年5月号

発行人 津谷歯科医院

院長 津谷良

住所 岡山市中区海吉1807-14

紙面に関するお問い合わせは下記まで

電話：0120-779-418

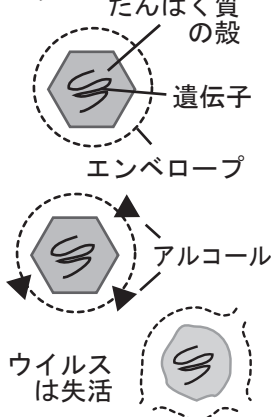
配信代行：訪問歯科診療を広める会

皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。新型コロナウイルスのパンデミックにより東京オリンピックの延期をはじめ教育(学校の長期休校)、生産、物流等、日常生活・経済活動が想像以上に制限される事態となりました。これまで人に感染するコロナウイルスは、普通の風邪の原因となるものが4種類とSARSコロナウイルス、MERSコロナウイルスの合計6種類が知られています。今回の新型コロナウイルスはSARSやMERSより病原性は低く、インフルエンザよりも感染性と致死率が高いと考えられています。診療科に関わらず医療機関での感染を恐れて受診を見合わせる患者様も少なくないようですが、正しい知識を持つことで“感染しない”“感染させない”が可能となります。そこで今回は、『新型コロナウイルスと感染防止対策』についての情報をお届けします。

■ 新型コロナウイルスと消毒

ウイルスは外側のエンベロープという被膜の有無で2種類に分けられ、エンベロープの有無が消毒薬抵抗性に大きく関係しています。エンベロープのあるものはインフルエンザが、エンベロープのないものはノロウイルスが有名です。このエンベロープは脂質でできているためアルコールや石鹸で壊れやすく内側のたんぱく質も変質するため感染力を失います。一方、エンベロープがないタイプはアルコール等の消毒薬への抵抗性が強くやっかいなウイルスです。実は新型コロナウイルスはエンベロープがあり、アルコールや石鹸で殺菌消毒できるタイプのウイルスです。



よる接触感染です。感染しても無症状の場合もあるので、他人に“感染させない”という観点からマスクの着用が有効です。また自分が“感染しない”という観点でも、無意識に鼻や口を触らないようにするためマスクの着用が有効です。換気の悪い密閉空間で多くの人が近距離で会話や発声することがなければ、マスクの着用と手洗い・アルコールの殺菌消毒を心掛ければ、日常の生活で必要以上に恐れる心配はありません。

■ 歯科医院・訪問歯科診療の感染防止対策

平成30年10月に厚労省が医療行為を行う上で感染防止のための厳しい基準を設けました。当院は、この基準をすべて満たした医療機関です。この感染防止対策基準の運用は院内のみならず、訪問歯科診療でも同じです。マスクの着用と頻繁なアルコール消毒をはじめ、薬液による滅菌ができない手袋、注射針、うがい用コップ等は使い捨てを用いて患者様ごと新しいものを使用しています。このように滅菌した器具や使い捨て器材の使用と訪問後の器材・器具の消毒や滅菌を行うことを手順に定めて感染防止対策を講じています。

◆ マスク着用と手洗い・アルコール消毒で新型コロナウイルスの感染予防を！ ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって



ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」と話をしていただけなのに…。そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間 9:00~12:30/14:00~18:30
(土曜日は16:30まで)

診療科目 歯科 小児歯科

休診日 木曜・日曜・祝祭日

院長 津谷 良

岡山市中区海吉1807-14

☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413